

〇実るほど頭を垂れる稲穂かな

大学生の頃、高等学校の授業参観に行く機会がありました。その学校の校長先生は、初対面の私たちに「今日は勉強しに来てくれてありがとう」などと言って何度も頭を下げられました。当時の私たちは「校長先生なのだからもっと偉そうにすればいいのに」と思ったことを憶えています。

年を重ねて、頭を下げられることが多くなってきました。年齢に関係なく年上の方にも丁寧な対応を受けることもあります。改めてこの言葉、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の意味を調べてみました。

若い緑色の稲はまっすぐに天に向かってすくすくと成長し、やがて実を付ける稲穂に成長します。更に稲穂の中の実（お米）が成長してくると、そのしっかりとした実の重みで自然と稲穂の部分が垂れ下がり美しい黄金色になっていきます。その過程では、強い風雨にさらされたり、冷たい日や暑い日乗り越えなければ、立派な稲に成長し豊かな実を付けることはできません。

この状態を人間に例えて、若い頃はまっすぐに上だけを向いて立派に成長し、色々な荒波や苦勞を乗り越え、立派な人格を形成した人物は、偉くなればなるほど、頭の低い謙虚な姿勢になっていくという意味として表現しています。

一方で、稲穂の中身が立派なお米に育っておらず、実がスカスカのお米だった場合には重みがなく軽い稲穂になってしまいます。そんな稲穂は、見た目は立派な稲穂に見えますが、穂が垂れるほどの重みがなく、頭が下がってはいません。

稲のこの生態の例えるところは、見た目や肩書きは立派だが、中身が伴っていない人は、虚勢を張って威張るだけの小物であり、人格者とは程遠い人物であるという事を示しています。

社会は多くの人との関わりで成り立っています。また、人はそれぞれに様々な経験をして、その人柄となっています。今を共に生きる人々への感謝の気持ちを忘れず生活をしたいものです。



十東小キャラクター
東武将くん

ホームページ更新しました

来週の予定

行事等	来週の予定			
	月	日	曜	時間
〇3年 三つ葉農家見学	10	17	月	13:15
〇ふれあいタイム6年企画				
〇2年生、東部児童館へ出かけました。				
〇10月7日の様子				
		18	火	1限 1・2限 15:45
		19	水	14:55 15:45
		20	木	3限 15:45
		21	金	2限 14:55 15:45
				午前4時間:40分授業 一斉下校 就学時健診
				1~4年ふれあい遠足説明会(児童のみ) 5年稲刈り 一斉下校
				5年稲刈り予備日 ふれあいタイム5年企画 1・2年スクールガード下校 3~6年下校
				6年薬物乱用防止教室 一斉下校
				避難訓練 1~3年下校 4~6年下校

子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。

十四山東部小学校

で

検索

または

